

細胞融合装置

(LF101)

ネッパジーン株式会社製

設置場所： バイオナノテクノロジーセンター（片柳研究所棟 6階）



本装置は細胞融合実験に必要とされる多くの機能を備えております。細胞鎖形成のための高周波交流電場を提供する AC フィールドと、細胞接着面に可逆的膜崩壊を生じさせる高圧直流電圧を与える DC パルスが、それぞれの目的に応じて種々の条件が設定できる多機能モデルです。

装置の特長

- 牛・豚・マウス・兎等のクローン動物作成が、極めて高い効率で得られる
- DC パルス電圧 0 ~ 200V の範囲で 1 V 刻み電圧設定が可能
- 融合細胞のダメージ回復用ポストフュージョン機能がスイッチ ON-OFF できます。
- 植物プロトプラスト融合や動物細胞融合で算出されるハイブリドーマの融合効率が高い
- 自動及び手動印加（1 ~ 99 回）ができるので操作が簡単、再現性にも優れています。
- 多種多様な電極と組み合わせることで、簡単かつ効率的な遺伝子導入や細胞融合が可能

主な仕様

- 交流：正弦波、電圧 0-50V、周波数 0.1-3.9MHz、時間 0-99s、接続負荷 50 以上
- DC パルス：波形スクエア、電圧 0-999V、パルス幅 5-99 μ s、印加回数自動（1-99 回）及び手動、印加間隔 0.1-9.9s、接続負荷 50 以上